



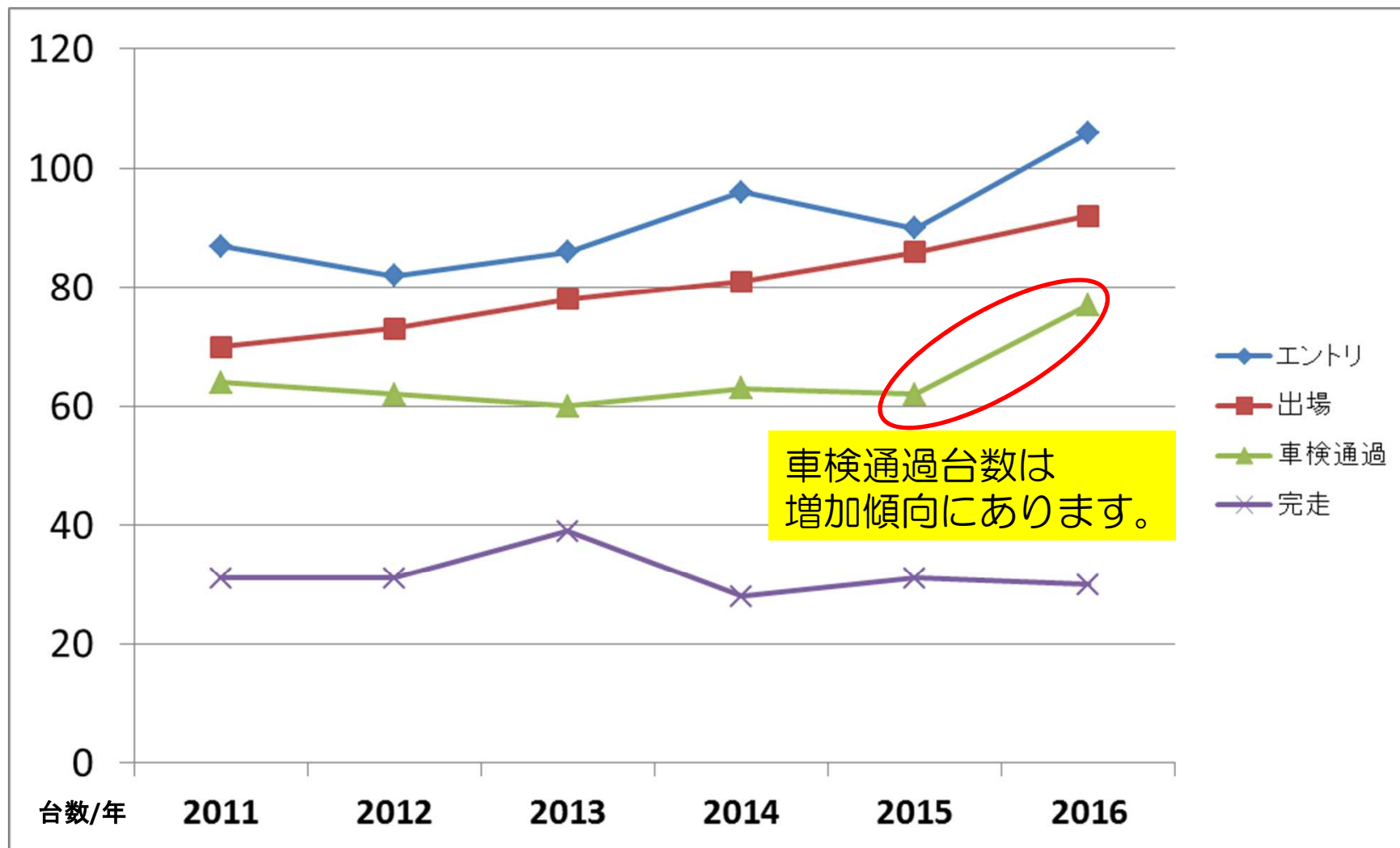
2016年 技術車検の振り返り



目次

- 1、過去5年間の推移
- 2、指摘項目の分析
- 3、指摘項目の代表例
- 4、エンデュランスでのリタイヤ事例
- 5、車検を受ける際の心構え
- 6、まとめ

過去5年間の推移



みなさんの頑張りにより、2016年は車検通過台数が増加しました。車検講習会への参加、車検ガイドを熟読された結果が、実を結んでいます。確実に車検通過できるよう、車検ガイドをしっかりと読んでください。

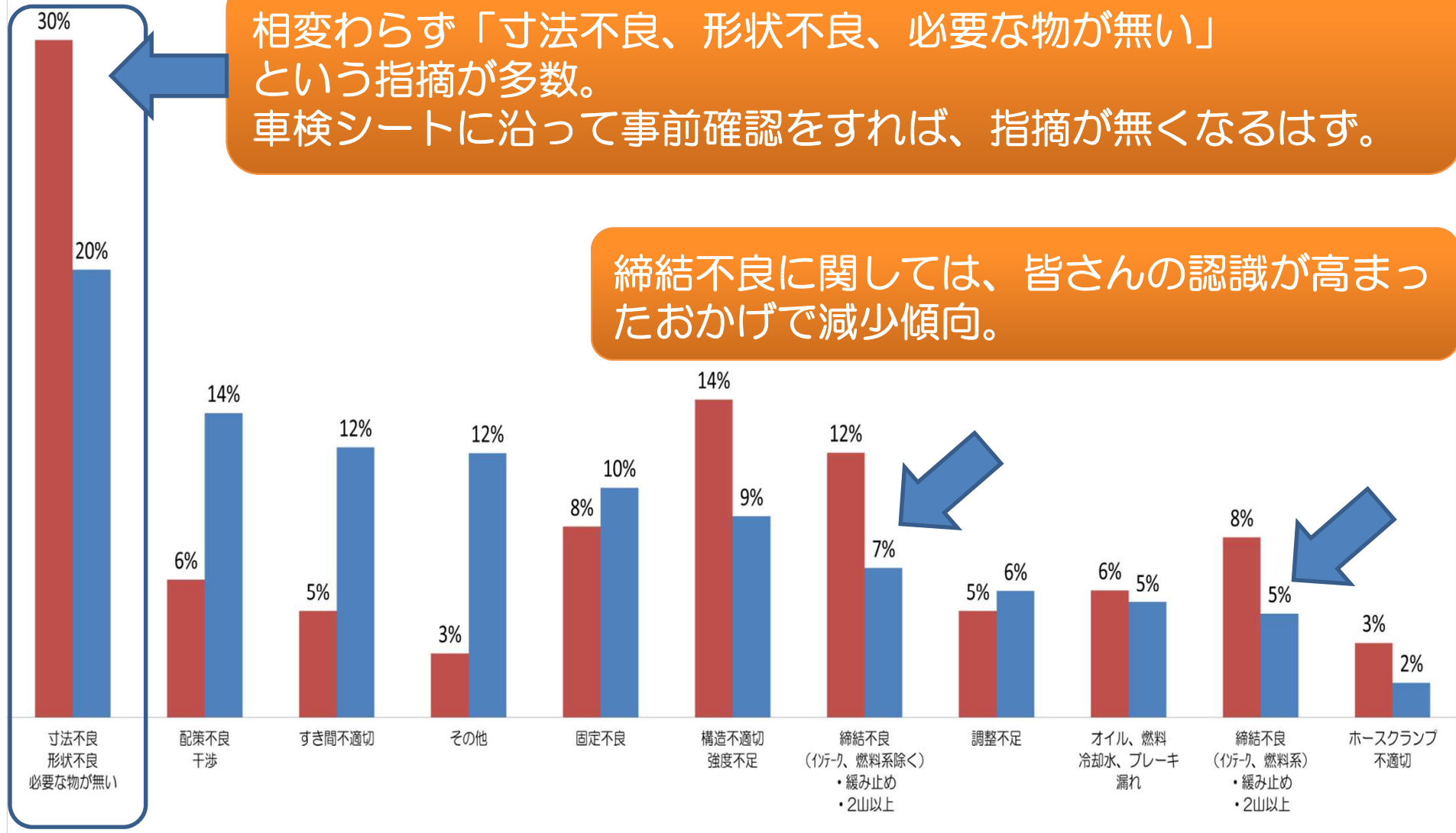
指摘項目の分析

指摘事項 事象別内訳

■ 2015年 ■ 2016年

相変わらず「寸法不良、形状不良、必要な物が無い」という指摘が多数。
車検シートに沿って事前確認をすれば、指摘が無くなるはず。

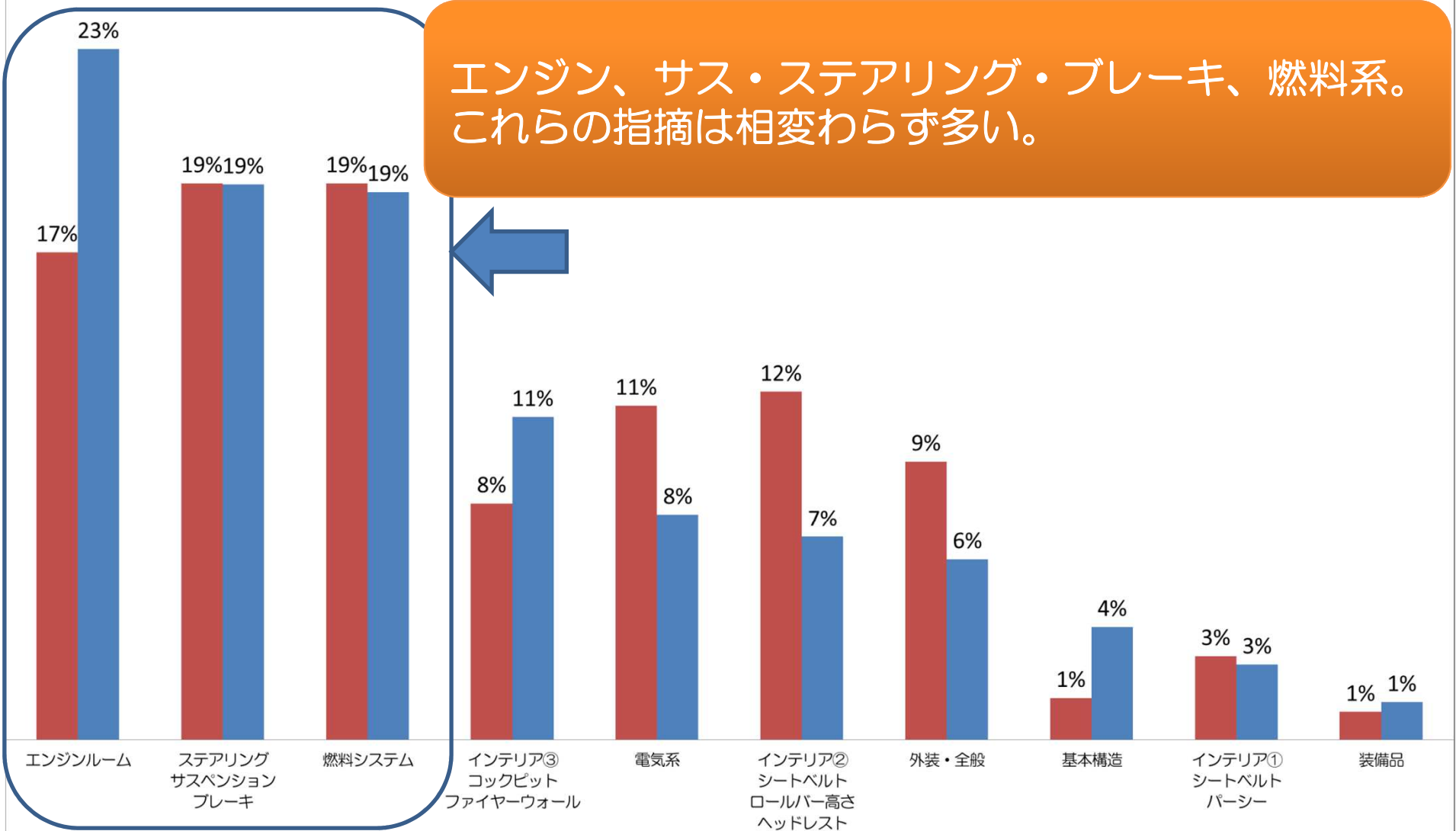
締結不良に関しては、皆さんの認識が高まったおかげで減少傾向。



指摘項目の分析

指摘事項 部位別の内訳

■ 2015年 ■ 2016年



指摘項目の代表例

「寸法不良、形状不良、必要な物が無い」

これは、レギュレーションに定められた寸法を満足しない、定められた形状と異なる、必要とされるものが付いていない、このような事例です。

- ノーズの先端 R38以上を満たさない
- 車両番号や学校名の文字寸法が基準値よりも小さい
- パーシー、テンプレートが入らない
- リストリクタがφ20よりも大きい
- 排気シールドが無い
- フィラーネック角度が基準値に入らない
- ショルダーベルト角度が基準値に入らない
- キャッチタンク 容量が基準値より不足している

レギュレーションを読む、車検シートに沿って事前確認すれば事前に分かることばかりです。

指摘項目の代表例

エンジン、サス・ステアリング、ブレーキ、燃料系

- ファイヤーウォールの寸法が足りない、隙間あり。
- 燃料漏れ、オイル漏れ
- ネジ締結 緩み止めルール不適切
(ねじ山が2山以上出てない、ポジティブロックナット不使用)
- ブレーキホース、燃料ホースの干渉
- サスペンション ストローク不足
- 燃料ホースのクランプ 選定が不適切
- リチウムイオンバッテリーのエビデンス不足

これらは、コントロール不能による衝突事故、車両火災を未然に防ぐことや、火災発生時にもドライバーの命を守るための大事なルールであり、重要な項目として厳しくチェックしています。

指摘項目：まさかの事例

以下のような、「まさかの事例」も散見されます。
基本構造体の作り直しが発生したり、事前チェックをまったく怠っていると思われる事例です。

- ソックス、グローブ、シューズの穴あき
- ロールフープの曲げRが、パイプ径の3倍以下
- SES申告パイプと肉厚が異なる
- フロントフープよりステアリングが高くて、はみ出す
- 通電させたら配線がショートして発煙した

事前に一度でもセルフチェックをしていれば気付くはずです。
本大会での基本構造の作り直しは、致命傷です。
事前に、車検シートに沿って確認してください。

エンデュランスでのリタイア事例

エンデュランスでは、走行51台中、21台がリタイアしました。
その代表事例です。

- アクセルペダルの引っ掛かり
- サスアーム折れ
- エンジンオイルが大量に漏れる
- 冷却水 大量にオーバーフロー
- サイドポンツーンが路面に干渉
- ギアが入らない
- エンジンストール

どの事例も、事前に試走会に参加して走り込んでいれば、本大会の前に対策ができたはずです。できるだけ早くマシンを完成させ、試走会に参加して十分に走り込むことを推奨します。

車検を受ける際の心構え

①車検予約時刻の遵守

毎年、車検の予約時刻を守れないチームが多数！
2016年大会では厳密に時間管理をして、予約に間に合わなかったチームは、容赦なくキャンセル扱いにしました。
厳しいようにも見えますが、当然のことです。

次年度も、この体制は崩しません。自分たちでスケジュール管理を行い、予約時刻通りに車検を受けられるように臨んでください。



車検を受ける際の心構え

②レギュレーションやエビデンスの持参

車検中に指摘や質問を受けた際に的確に答えられるよう、レギュレーションを必ず持参してください。

また、レギュレーションに適合していると判断したエビデンス。的確に車検員に説明できるよう、これも必ず持参してください。

ただし、資料や写真を「持っているだけ」ではエビデンスになりません。皆さんがそれに対し「どういう考えでOKと判断しました」という説明を添えてください。

車検を受ける際の心構え

③車検ハンドブックを熟読すること

車検の受検手順が書かれた車検ハンドブックを必ず熟読してください。

ハンドブックは、車検受検に対する「レギュレーション」です。分からないことがあれば、まずはハンドブックをもう一度熟読すること。

車検を受ける際の心構え

④事前にセルフチェックを行うこと

何度も言いますが、事前に車検シートに沿ってセルフチェックをしていないチームが多いです。

車検シートに明確に書かれている寸法要件や構造要件は、事前に車検シートに沿って確認していれば、必ず事前に分かるはずですよ。

車検シートは例年、7月頃には正式にチームページに掲載されますので、必ず入手し、事前に自分たちでセルフチェックをしてください。

車検を受ける際の心構え

⑤車検に受けられないような車で臨まないこと。

- オイル、ブレーキフルード等の液体が漏れている
- 燃料が漏れていて匂いがする
- 液体漏れの跡を拭いてない
- ボルトの締め忘れ
- 作業途中
- 事前にセルフチェックしていない

• • •

これらは、車検を受ける資格が無いに等しい事例です。定められた検査時間（50分）で車検が終えられるよう、完ぺきな状態に仕上げた車両で車検を受けてください。

まとめ

最後に、重要なキーワードをおさらいします。
スムーズに車検を合格させ、無事に動的イベントに進める
よう、頑張ってください。

- ①車検予約時刻を遵守すること
- ②レギュレーションやエビデンスの持参
- ③車検ハンドブックを熟読すること
- ④事前に車検シートに沿ってセルフチェックを行うこと
- ⑤車検に受けられないような車両で臨まない